



まごころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011~2012年度
国際ロータリーのテーマ
まごころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011~2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
幹事 長：高須 洋志
事 長：馬場 将嘉
クラブ広報委員長：関谷 俊征
例会 日：毎週木曜日PM12:30~
場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1536回例会

2012年1月26日(木) 晴 第26回

~ロータリー理解推進月間~
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

司 会：湯澤信雄会場委員
斉 唱：「日も風も星も」「四つのテスト」
ゲ ス ト：春日重人さん
(名誉会員(故人)春日良平さんご子息)

副会長挨拶

吉木洋二副会長

本日は最近とかく話題のインプラントについて、お話ししたいと思います。一昨年には豊橋でインプラントの使い回しが事件になったり、1週間程前にはNHKの『クローズアップ現代』で取り上げられたりもしました。



人は最初に乳歯が生え、中学時代には永久歯に変わりますが、色々な理由で無くなると普通は取り外しの義歯になりますが、顎の骨に人工の歯を植える第3の歯とも言えるインプラントが登場してきました。歴史的にはもう50年程前から色々な材料や手技があり、勿論患者さんの満足度も高い大変に良いものだと言って間違いありません。ただ、条件の良い環境であっての話で、骨が少ない、重篤な糖尿病、免疫力の低下している人等には不可能です。しかし、技術や材料の進歩で以前は無理だった環境でも今では可能になった事も沢山あります。メディアは被害に遭い、紛争になった例をテーマに取り上げて報道するので、事実以上に社会的な影響を与えています。患者さんは一人一人条件が異なるので、難しいことは確かです。例えば、骨が足りない場合は他から採ってきて移植したり、顎だけでなく頬骨も利用するような実験に近いようなこともされています。インプラントは世界一の歯医者が行っても97~98%の成功率です。より困難な症例に挑戦すればする程、さらに成功率は下がります。加えて人は名誉やお金に対しての欲にも負け、無理をする事もあります。しかし条件さえ良ければ殆どが安全です。そして何より、自分の歯を大切にすることが一番です。

出席報告

平野哲始郎出席委員

会員67名 出席51名 (出席計算人数49名)

出席率 89.4% 1月19日は補填により 98.2%

幹事報告

馬場将嘉幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋4階「藤の間」にて第2回長期ビジョン委員会を行います。
- ・同日18:00より『きんのじ』にて第2回クラブ奉仕協議会を行います。
- ・次週2月2日(木)はヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第8回理事会・第5回CAを行います。

ニコボックス

平野哲始郎ニコボックス委員

- ・1月26日は私の誕生日、1月30日は妻の誕生日です。
本多 清治さん
- ・1月23日は妻の誕生日でした。お花を頂きました。
宇佐美貞夫さん
- ・1月24日は70回目の誕生日でした。関谷さん、先日はお世話になり、ありがとうございました。
吉木 洋二さん
- ・皆さんこんにちは。お昼の例会、久しぶりです。大川 嘉成さん
- ・久しぶりに大川さんが昼の例会にお越しになりました。びっくりしました。
増田 盛英さん
- ・インフルエンザが滅茶苦茶はやっています。宗宮 信賢さん
- ・今年初めての例会出席です。皆さん明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。
平野哲始郎さん
- ・今日はクラブフォーラムです。来年度の組織について発表させていただきます。よろしくお願いします。
平野 好道さん
- ・先週は体調を崩し、ご迷惑をかけた皆さんすみませんでした。すっかり良くなりました。
亀井 直人さん
- ・家族が皆、風邪を引いています。外出の多い私はなかなかうつりません。
鈴木 淑久さん
- ・先日ローターアクトの例会に参加させていただきました。早朝4:00集合で素晴らしい体験をさせていただきました。名古屋南RCの村瀬さんにお世話になり、ありがとうございました。
鶴田 浩さん
- ・寒い日が続いております。
内田 久利さん

春日重人さん挨拶



先日の父の葬儀には皆様お忙しい中、お集まり頂き、多くの御供花・御香典を賜り、ありがとうございました。父・春日良平は大変お酒が好きで、煙草も吸っており、長年糖尿病を患っておりました。人工透析も7年程行っていたと思います。大好きだった読書もできなくなる程に視力も低下し、昨年3月から八事の日赤病院に入院していました。右足の親指辺りから徐々に切断していき、足首も切断し、最後には膝下辺りまで切断することになりました。先日の葬儀の時には父が皆様から支えられ、慕われていたのだと感じました。御会葬頂き、父は本当に幸せ者だと思いました。父が商売を辞めた時にも名誉会員として在籍をさせて頂いたことも感謝しております。

私は盛田酒造『ねのひ』で働いていますが、将来は父の思いを引き継ぎ、自分で商売を行いたいと思っております。その際には皆様からのお力をお借りすることが出てくるかもしれませんが、是非とも御指導・御鞭撻の方をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

国際奉仕委員会: 鶴田浩国際奉仕委員

台北延平RCとの例会(3月14日~16日)に関するアンケート用紙をFAXにてお送りしました。アンケートの2項目以外に皆さんが搭乘されるフライト便名を追記して、提出をお願いします。

グルメ会: 田中隆義さん

第54回グルメ会を「春日良平さんの思い出を語る会」として3月1日(木)18:00~「ねのひ 本店」で開催致します。今回はグルメ会会員だけでなく、全会員にご案内致しますので、多数ご参加下さい。

地区ポリオプラス委員会: 増田盛英委員長

VTT RIゾーンチャレンジコディネーターからメールが来ましたので、ご紹介いたします。

ポリオ撲滅に向けた5千万ドルの追加補助金について

本日、国際協議会において、チャレンジへの募金が目標額2億ドルを上回る2億260万ドル(2012年1月17日現在)に達したことを発表でき、大変嬉しく感じております。

さらに、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の最高責任者であるジェフ・レイクス氏が国際協議会に出席され、ポリオ撲滅に向けた5,000万ドルの追加補助金をロータリー財団に授与することを発表されました。ゲイツ財団からのこの新たな5,000万ドルの補助金は、チャレンジ補助金(ロータリーからの上乗せを条件とする補助金)ではありません。この補助金は、期日より早く2億ドルの目標を達成したロータリーの努力に対するものであり、また、世界ポリオ撲滅推進計画への継続した資金援助の必要性を踏まえたものです。今回の追加補助金についてご質問をお持ちの方も多いため、それにお答えするための概要資料を作成いたしました。この概要資料は、ほかのロータリアンにもご自由にお配りいただいて結構です。

多くの地区やクラブは、地元地域での募金活動などを通じてチャレンジをご支援くださいました。こちらのプレスリリースを地域のメディアに送り、このニュースを地元の人々にもお伝えいただければ幸いです。このプレスリリースには、地元で実施した募金活動やポリオ撲滅関連活動を挿入するなどして、地元用にカスタマイズしてお使いいただけます。

一方で、今回の達成は、ポリオ撲滅への道のりにおける一つの節目にすぎないことを忘れるべきではありません。最も重要なのは、ポリオ撲滅の証明という最終目標を達成することです。チャレンジの正式な終了日は2012年6月30日であり、ロータリアンは今後もチャレンジへの募金を続けていきます。ロータリーのリーダーである私たちは、これらロータリアンの引き続きの参加を奨励する立場にあります。過去の募金キャンペーンと同様、目標額2億ドルを大きく上回る結果を残せると固く信じております。

皆さまのこれまでのご尽力に心より感謝申し上げますとともに、ポリオ撲滅の証明という最終目標の達成に向けて、引き続きのご支援をどうかお願い申し上げます。ともに「End Polio Now」(ポリオ撲滅)を実現させましょう。

心を込めて

ロータリーのチャレンジ委員長 ジョン F. ジャーム
国際ポリオ・プラス委員長 ロバート S. スコット

<幹事>ただいまからクラブフォーラムを開催致します。会員総数67名、本日の出席者51名ですのでこのクラブフォーラムは成立致します。

中間決算報告について: 稲葉徹会計

2011-2012年度の中間決算報告書(案)を発表させていただきます。

収入の部

入会金が入会者4名で600,000円、会費が6,045,000円(@90,000×67名+1名×1/6)、例会費が8,821,000円(@133,000×66名+1名×43,000)、R財団寄付が622,360円、米山記念奨学会寄付が586,000円、地区大会協力金が335,000円(@5,000×67名)、来訪者会費が52,000円(@4,000×13名)、米山奨学生受入が1,020,000円、雑収入が832円。当期収入合計が18,082,192円、前年度繰越収支差額が4,668,208円。収入合計が22,750,400円です。

支出の部 その1

ロータリー組織関係の費用です。RI関係は人頭分担金が125,671円、規定審議分担金が5,166円です。全国関係はロータリー財団寄付が622,360円、米山記念奨学会寄付が586,000円、ロータリーの友購読料が88,200円です。地区関係は地区資金が315,000円、地区大会協力金が315,000円、地区事業費が160,650円、ガバナー月信購読料が94,500円、米山奨学金が840,000円、地区大会参加義務者負担金が792,000円、地区大会晩餐会参加義務者負担金が0円、地区協議会参加義務者負担金は0円、社会奉仕市内24RC分担金が63,000円、新世代ライラセミナー協力金が36,000円、名古屋姉妹都市協会分担金が0円、地区出向費が85,000円です。ロータリー組織関係全体の小計は4,128,547円です。

支出の部 その2

例会関係の費用です。例会費が7,538,020円、来訪者会費が52,000円、小計は7,590,020円です。委員会活動関係の費用です。クラブ奉仕関係でクラブ奉仕が9,000円、出席が12,605円、ニコボックスが113,925円、職業分類が0円、会員増強及び維持が12,385円、会員選考が0円、クラブ広報が525,524円、親睦活動が△623,963円、プログラムが20,000円、ロータリー情報が1,248円、会場が10,000円です。職業奉仕は0円、社会奉仕関係で社会奉仕・環境保全が81,000円、新世代が18,000円、ローターアクトが481,086円です。国際奉仕の関係で国際奉仕が5,000円、ロータリー財団が0円、米山奨学が22,000円です。長期ビジョンは0円、地区大会実行は0円、委員会活動関係全体の小計は687,810円です。

支出の部 その3

管理費関係の費用です。賃借費が1,370,800円、人件費が2,068,103円、会議費が32,930円、通信費が95,725円、旅費交通費が173,260円、事務消耗品費が387,599円、印刷費が602,406円、雑費が134,228円、管理費の小計は4,865,051円です。予備費が0円、当期支出合計が17,271,428円、当期収支差額は810,764円、次期繰越収支差額は5,478,972円です。

ニコボックス収支計算書

収入の方は、7月~12月までの合計と利息で当期収入合計1,295,189円、前期繰越収支差額が5,766,029円で、収入合計が7,061,218円となります。支出の方は、タイ洪水被害義援金が67,000円、振込料が210円。当期支出合計67,210円。当期収支差額が1,227,979円、次期繰越収支差額が6,994,008円です。

貸借対照表

資産の部は、現金115,273円、普通預金1,551,260円、普通預金(米山)181,220円、定期預金0円、未収金0円、立替金0円、仮払金299,000円、仮払金(地区大会)1,796,037円、前払金1,355,900円、貯蔵品302,100円、普通預金(ニコボックス)6,994,008円、定期預金(ニコボックス)0円で合計12,594,798円です。負債の部は、未払金88,805円、35周年事業資金0円、事務局員退職金積立0円、預り金33,013円、仮受金0円、前受金0円、剰余金5,478,972円、剰余金(ニコボックス)6,994,008円で合計12,594,798円です。

監査報告: 森 恒夫さん

1月11日に事務局にて監査を実施致しました。その結果、平成23年7月1日から12月31日までの収支、及び12月31日現在の貸借対照表は適正に表示されていると認められました。以上ご報告申し上げます。

議長: 高須洋志会長

ただいま報告がありました中間決算報告について、ご質問ありますでしょうか。よろしければ拍手でご承認をお願い致します。(拍手)ありがとうございました。

次年度組織について: 平野好道副幹事

2012-2013年度の役員及び委員会構成案を発表させていただきます。役員理事は前回既に発表されておりますので、本日は委員会構成のみ発表いたします。(2012-2013年度クラブ 役員・理事及び委員会構成案は4ページの表を参照)

議長: 高須洋志会長

ただいま発表されました次年度の組織について、ご質問ありますでしょうか。よろしければ拍手でご承認をお願い致します。(拍手)ありがとうございました。

国際ロータリーニュース

事務総長が5つの優先項目について語る

国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長が国際協議会で講演し、事務局職員によるクラブと地区への支援をさらに効果的・効率的にするための重要な取り組みについて語りました。「ロータリーは輝かしい歴史を誇る団体ですが、最盛期はまだこれからです」と述べたヒューコ氏は、組織をさらに強くするための5つの優先項目を紹介した上で、「これらの5つの優先項目に力を注げば、傑出したこの団体をさらに強化し、個々のクラブやロータリアンにいたる組織の隅々まで、好ましい変化をもたらすことができるでしょう」と述べました。



<ポリオの撲滅>

ヒューコ氏が最初に提示した優先項目は、1985年以来、ロータリーが率先して取り組んできたポリオ撲滅です。撲滅によって、世界の何十万人という子供を守ることができるだけでなく、撲滅後20年間に400~500億米ドルの医療費が節約できることについても触れました。また、ポリオ撲滅におけるロータリーの役割を伝えるための大々的な広報キャンペーンが進行中であることも紹介し、「ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーはこの成功を土台に次なる世界的取り組みにあたることができる」と述べました。

<未来の夢>

2つ目の優先項目は、RI戦略計画の実施と未来の夢計画の全

世界導入です。特に、ロータリー財団の新しい補助金モデルを採用した未来の夢計画は、ポリオ撲滅に次いで2番目に重要な取り組みであり、地区のリーダーからの全面的な支援が不可欠であると述べました。

「未来の夢計画の実施が成功すれば、よく練られ、持続可能性と測定可能性に優れた、6つの重点分野に沿ったプログラムとプロジェクトが生まれるようになります。その結果、ロータリーの知名度、評判、公共イメージが高まり、ロータリーは、ほかの団体にとって、より魅力あるパートナーとなるでしょう。「未来の夢」は、クラブと地区に目に見える多大な恩恵をもたらすものです」

<ロータリー・クラブ・セントラル>

3つ目は、「ロータリー・クラブ・セントラル」と呼ばれる新しいツールの開発です。このオンライン・ツールで、毎年世界各地で行われている何千という奉仕プロジェクトの価値をロータリーが具体的に把握できると同時に、クラブは、過去の活動記録、戦略計画や活動目標の進捗の確認、設定した目標の報告を行うことができ、クラブ、地区、ゾーンで行われている活動の影響を総合して把握できるようになります。

「ポリオ撲滅資金を除けば、ロータリー財団が扱う資金の総額は、毎年約1億ドルであることが分かっています。しかし、募金の総額、現金寄付、世界中の奉仕プロジェクトに費やされる労力を合計したら、一体どのくらいの価値になるのかは、今のところまったく不明です。(中略)信頼の置ける数値でその功績を示すことができれば、ロータリーの評判が高まり、会員基盤が成長し、さらに戦略パートナーとしてのロータリーの魅力も増すことになるでしょう」

<会員増強>

4つ目は会員増強です。「若い人々が魅力と重要性を感じるような団体になること」も会員増強策の一つであると述べたヒューコ氏は、各地域特有のニーズや課題に対応する会員増強3年計画の立案をRI理事会が承認したことについても言及しました。この優先項目を達成するには、ウェブサイトを機能が良く使いやすいものに改良し、ソーシャルメディアの活用を増やし、Eクラブの発展を促し、出席要件の柔軟性をクラブに与える必要があると、ヒューコ氏は話します。

また、ロータリーのブランド、会員組織、一番の強み、競争性、運営哲学をグローバルな新しい観点で見つめ直すために、理事会が国際的なブランディング会社と協力していることも紹介しました。「このプロセスは、単なるブランド再生にとどまらず、究極的には、ロータリーの再生につながるものです。(ブランド再生によって)ロータリーの功績が驚くべきものであることを、世界の人々に分かっていただけでしょう」

<人道的支援>

5つ目は、ロータリーを人道的支援と開発分野における世界有数の団体の一つとして、しっかりと位置づけることです。「熱心で、積極性と意欲にあふれ、世界各地のビジネスや職業を代表する120万人の会員から成るロータリーこそ、ほかに類のない民間組織であることは間違いありません」とヒューコ氏。

「ロータリーの炎がますます熱く燃え続けるよう、全身全霊をもって努力する覚悟です。家族や友人、地域社会や世界の国々、そして来るべき世代のために、皆さまとともに、より良い世界を目指していきたいと思えます」

例会のご案内

■今週の卓話 2月2日(木)

会員卓話: 湯澤勇生さん

テーマ: 新入会員イニシエーションスピーチ

■次週の行事 2月8日(水) 4RC合同例会

場所: 名古屋マリオットアソシアホテル

時間: 18:00~20:00

■2月9日(木) 振替により休会

2012～2013年度クラブ役員理事及び委員会構成表

会 長	松波 恒彦	役 員	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 長	高 木 勝	理 事
副 会 長	西 本 哲	役 員	職 業 奉 仕 委 員 長	宗 宮 信 賢	理 事
会 長 エ レ ク ト	泉 憲一	役 員	社 会 奉 仕 委 員 長	岩 田 修 司	理 事
直 前 会 長	高 須 洋 志	役 員	国 際 奉 仕 委 員 長	内 田 久 利	理 事
幹 事	平 野 好 道	役 員	新 世 代 奉 仕 委 員 長	落 合 諭	理 事
会 計	伊 藤 豪	役 員	会 員 増 強 及 び 維 持 委 員 長	馬 場 將 嘉	理 事
S ・ A ・ A	田 中 隆 義	役 員	親 睦 活 動 委 員 長	関 谷 俊 征	理 事
副 幹 事	亀 井 直 人		R 情 報 ・ 研 修 委 員 長	長 瀬 憲 八 郎	理 事
			会 場 委 員 長	堀 慎 治	理 事
			R 財 団 委 員 長	長 坂 邦 雄	理 事
			長 期 ビ ジ ョ ン 委 員 長	野 崎 洋 二	理 事
			無 任 所	増 田 盛 英	理 事
			無 任 所	近 藤 雄 亮	理 事

奉 仕 区 分	委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員	
ク ラ ブ 奉 仕	ク ラ ブ 奉 仕	高 木 勝	関 谷 俊 征	梅 村 昌 孝 馬 場 將 嘉 大 嶽 達 郎 近 藤 茂 弘 長 瀬 憲 八 郎 堀 慎 治	
	出 席 ニコボックス	梅 村 昌 孝	神 田 広 一	鶴 田 浩 佐 藤 一 郎 高 村 博 三 遠 山 堯 郎 吉 木 洋 二	
	会 員 増 強 及 び 維 持	馬 場 將 嘉 ①	加 納 裕 ②	本 多 清 治 ② 小 串 和 夫 ④ 森 恒 夫 ③ 遠 山 堯 郎 ①	
	会 員 選 考				
	職 業 分 類				
	ク ラ ブ 広 報	大 嶽 達 郎	山 口 哲 司	田 中 英 雄 山 本 英 雄 田 中 政 雄	
	親 睦 活 動	関 谷 俊 征	鈴 木 淑 久	鈴 木 健 司 湯 澤 勇 生 岩 本 成 郎	
	(国 内 友 好 小 委 員 会 選 任)		堀 慎 治	高 須 洋 志 馬 場 將 嘉 亀 井 直 人	
	プ ロ グ ラ ム	近 藤 茂 弘	鈴 木 圓 三	岡 本 忠 史 越 原 一 郎 山 田 鎮 浩	
	R 情 報 ・ 研 修	長 瀬 憲 八 郎 ①	増 田 盛 英 ④	天 野 正 明 ① 松 井 善 則 ④ 高 須 洋 志 ③ 岡 村 達 人 ②	
会 場	堀 慎 治	湯 澤 信 雄	高 木 元 明 八 木 沢 幹 夫 渡 辺 喜 代 彦 神 田 広 一		
職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	宗 宮 信 賢	神 田 広 一	高 木 勝 加 納 裕	
社 会 奉 仕	社 会 奉 仕	岩 田 修 司	平 野 哲 始 郎	稲 葉 徹 江 口 金 満	
	環 境 保 全				
新 世 代 奉 仕	新 世 代 奉 仕	落 合 諭	市 岡 正 蔵	岩 田 吉 廣 布 目 徳	
	ロ ー タ ー ア ク ト				
国 際 奉 仕	国 際 奉 仕	内 田 久 利	西 沢 功 晋	本 多 清 治 佐 藤 善 乙	
	R 財 団	長 坂 邦 雄	宇 佐 美 貞 夫	増 田 盛 英 大 島 浩 嗣	
	米 山 奨 学	稲 垣 豊	大 川 嘉 成	倉 澤 寛 嶺 木 一 夫	
	長 期 ビ ジ ョ ン	野 崎 洋 二	岡 村 達 人	高 須 洋 志 馬 場 將 嘉 泉 憲 一 高 木 勝 宗 宮 信 賢 岩 田 修 司 内 田 久 利	

第2760地区 出 向 者	天野 正明③(研修)、高木 勝③(職業奉仕)、稲葉 徹①(社会奉仕)、 加納 裕②(職業研修チーム)、高須 洋志①(東日本大震災プロジェクト副委員長)、 高村 博三②(地区大会企画)、遠山 堯郎②(地区大会企画)、平野好道①(IT) 増田 盛英②(ポリオプラス委員長、ロータリー財団副委員長、ロータリー平和フェローシップ)
------------------	--

○内の数字は委員就任年数